

『成城文藝』 本年度刊行分総目次

(自第一九九号
至第二〇二号)

執筆者五十音順

【論文】

北山 研二

Marcel Duchamp avec sa pensée du dehors

第二〇二号、七四～四五頁

後藤 昭雄

早稲田大学図書館蔵

『小野僧正祈雨之間賀雨贈答詩』をめぐって

第二〇一号、一～一二頁

今野 真二

漢語をめぐる連合関係

——「商議／商量」と「談合／相談」と——

第二〇〇号、六九～八六頁

木畑 和子

東ドイツに帰国した亡命ユダヤ人たち (3)

第一九九号、一二八～一二七頁

篠川 賢

物部氏の始祖伝承と石上麻呂

第二〇〇号、一～一六頁

東ドイツに帰国した亡命ユダヤ人たち (4)

第二〇〇号、一七六～一六一頁

杉本 豊久

グラスゴー方言

——その音韻・つづり字法・語彙——

第二〇〇号、一六〇～一二五頁

曾我部 一行

及川 祥平

今野 大輔

『人類学雑誌』考

——民俗学の揺籃期——

第二〇一号、一一九～七二頁

妹尾 江里子

運動遂行時における感情喚起による動機づけのイメージの効果について

第一九九号、五二～三四頁

谷 脇 由季子

「本当の教育」としての大学教育とは何か

——「専門ノ普通教育」をめぐって——

第一九九号、七一～五三頁

千足 伸行

シニヤックとアナーキズム(1) ……
社会的芸術(上)

第二〇〇号、一二四～九九頁

角 田 三 枝

シニヤックとアナーキズム(1) ……
社会的芸術(下)

第二〇一号、一七八～一五一頁

テ形接続と接続表現のシ…
「節連接とモダリティの階層」との関係

第一九九号、八八～七二頁

鶴見良次

ラテン語文法訳読と母語教育

——ジョン・プリンズリー『ルードゥス・リテラリウス』と
17世紀イギリスの英語教育——

第二〇〇号、二二四～二〇〇頁

堀内圭子

消費者のノスタルジア

——研究の動向と今後の課題——

第二〇一号、一九八～一七九頁

富山典彦

ミロ・ドールのウイーン

——選ばれた故郷と他者の語り——

第二〇〇号、一九八～一七八頁

南保輔

Discourse of Change among Young Japanese Sojourners:
A Case of "I've Changed."

第二〇〇号、二七八～二五六頁

古田尚輝

劇映画『空白の6年』(その2)

第一九九号、一一六～八九頁

劇映画『空白の6年』(その3)

第二〇〇号、二五四～二二六頁

森暢平

戦時期の記者倶楽部再編

第二〇〇号、一七～四五頁

劇映画『空白の6年』(完)

第二〇一号、一五〇～二二〇頁

森田 孟

アスク川の白鳥

——ヘンリー・ヴォーン小考——

第一九九号、一～二四頁

その瞑想を追い始める

——ヘンリー・ヴォーン小考(二)——

第二〇〇号、四七～六七頁

〈死〉からの再出発

——ヘンリー・ヴォーン小考(三)——

第二〇一号、一三～三三頁

「序文」と「反歌」に包まれて

——ヘンリー・ヴォーン小考(四)——

第二〇二号、一～三二頁

【研究ノート】

【エッセイ】

工藤 力男

起業されてつ

——言語時評・十四——

第一九九号、二五～三二頁

新聞醜悪録続貂

——言語時評・十五——

第二〇〇号、八七～九六頁

新聞醜悪録続貂(承前)

——言語時評・十六——

第二〇一号、六一～七〇頁

朗読者の務めと悩み

——言語時評・十七——

第二〇二号、三三～四一頁

磯田 一雄

黄靈芝の俳句観と「台湾俳句」

——台北俳句會における俳句指導(句評)を中心に——

第二〇一号、三四～六〇頁